

借りる、買う、修繕する……。暮らしのあらゆるニーズに“感動”を提案。「札幌宅商に頼めば大丈夫」を目指す



■ Profile [おかばやし としかず]

1963年5月18日生まれ。北海道白糠郡白糠町出身。小樽商科大学短期大学部卒業後、1985年同社に入社するものの、売買仲介業に携わりたいと仲介業を行う不動産会社に転職。経験を積み、1995年札幌宅商から「仲介部門をつくるので」と打診され再度入社。その後、営業部長、専務を経て2003年に現職に就任。座右の銘は「熱意で人は動く」

■ スローガンを名刺にも掲げ、札幌中心部に3つの事業所を展開

札幌宅商が掲げるスローガン「感動宣言」は、同社スタッフの名刺にも記されている。常にこのテーマを忘れずに顧客対応を行っているのだ。また同社は札幌市の中心部である豊平区、北区に計3つの事業所を展開。地域に根ざし、売買賃貸、リフォーム業など、あらゆる住環境のニーズに応えられる体制を整えている。



社員全員が考える会社の未来
それが感動の提案につながる

—御社が大切にしていることは。

当社では「感動宣言～喜びの予感～」という経営理念を掲げています。お客様が住宅を探す際、たくさんの不動産会社に出会うと思います。そのとき、当社の一人ひとりが人間性に富み、出会いに感謝する気持ちをもってれば、お客様の感動を呼び起こすことができると考えています。希望に沿うご提案はもちろん基本ですが、こうした人間力があってこそ、お客様が本当に感動して夢を描ける住宅をご紹介でき、心から喜んでいただけるご提案の土台になるのではないかと思います。

—それを実現する体制づくりとは。

社員全員が参加する「第3次五カ年計画」を策定しています。これは5年後こういう会社になりたいと社員全員が考えられ

るようにするものです。私の夢は次の社長、経営者をつくること。長く続く会社は、それだけで安心感がありますよね。そのためには、やっぱり働く人間が大切なんです。だからスタッフ一人ひとりが会社のこと、顧客提案のことを自分の問題ととらえてどんどん提案する、そんなスタッフ育成に力を入れています。

—今後の事業展開については。

自社が売主の中古物件に対して「アフター×リフォーム」をセットにした商品を展開予定です。これは一言でいえば選べる住まいの提案です。例えばお風呂、キッチンといった設備の種類やカラーが選べることで、よりオリジナリティーある住まいを実現できます。また、今後は家売って終わりではなく、引越しや掃除から果てはお墓まで、暮らしの何から何まで密着し、「札幌宅商に頼めば大丈夫」、そんなことを言ってもらえる会社になりたいですね。

札幌宅商株式会社

設立●1971年8月27日

資本金●1000万円

所在地●札幌市豊平区平岸2条13丁目3番14号
チサンマンション札幌第6(本社)

電話番号●011-822-1700

事業内容●一戸建て分譲業、不動産販売業、不動産仲介業、賃貸仲介業、賃貸管理業、リフォーム業、損害保険・生命保険代理店業

HP●<http://www.sapporotakusho.co.jp>